

おうとう「佐藤錦」の受粉樹となり、食味良好な「紅ゆたか」

【概要】

1 背景とねらい

おうとうの基幹品種は「佐藤錦」、「紅秀峰」ですが、「佐藤錦」は結実が不安定な品種のため、結実安定化には受粉樹が重要で、「ナポレオン」や基幹品種の「紅秀峰」が利用されています。しかし、「紅秀峰」は気象変動の影響で開花期が合わない年があり、「ナポレオン」は食味がやや劣ります。そのため、「佐藤錦」や「紅秀峰」と収穫時期が異なり食味がよい受粉樹が望まれています。

2 「紅ゆたか」の特徴

- (1) 開花始は「佐藤錦」と同日～2日程度早く、「佐藤錦」と交雑和合性であり、受粉樹として利用できます(表1)。
- (2) 収穫期は「佐藤錦」より4日程度早い早生種で、一粒重、糖度は「佐藤錦」とほぼ同等で、酸度は「佐藤錦」よりもやや高めです。
- (3) 食味評価は、「佐藤錦」と比較して、酸味がやや多く、甘酸バランスが良く、食味は良好との評価です。外観評価は、大きさが同程度で、果色(着色)はやや劣るとの評価です。

3 留意事項

- (1) 「紅ゆたか」は着色が劣ることがあるため、適切に反射シートを設置しましょう。
- (2) 「佐藤錦」等の結実確保のため、受粉樹の導入に加えて、人工授粉を5分咲き及び満開時の最低2回は実施しましょう。

【試験データ等】

表1 各品種の生態と「紅ゆたか」との交雑和合性、果実品質

品種	開花始	満開期	収穫期	「紅ゆたか」との交雑和合性	一粒重 (g)	糖度 (° Brix)	酸度 (g/100ml)
紅ゆたか	4/19	4/22	6/12	—	7.4	16.4	0.60
佐藤錦	4/19	4/24	6/16	○	7.7	17.0	0.44
紅秀峰	4/17	4/21	6/21	○	9.6	19.7	0.40

※1 生態(開花期、収穫期)はR2～R6年の5か年の平均値

※2 果実品質はR4～R6年の3か年の平均値



図1 「紅ゆたか」の果実

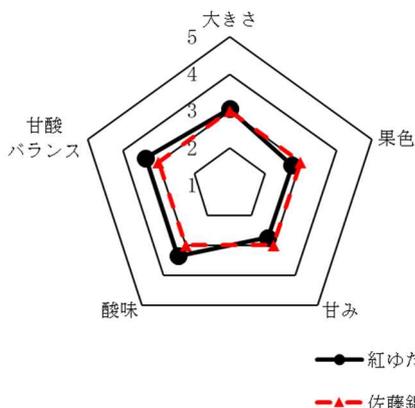


図2 「紅ゆたか」と「佐藤錦」の外観・食味アンケート結果

※1 R4～R6年の平均値

※2 「佐藤錦」を対照品種として、下記で評価。

大きさ: 1(小さい)～3(同等)～5(大きい)

甘み・酸味: 1(少ない)～3(同等)～5(多い)

果色・甘酸バランス

: 1(大変悪い)～3(同等)～5(大変良い)

【令和6年度成果】おうとう「佐藤錦」の受粉樹として利用でき、食味良好な早生品種「紅ゆたか」(R6-指-09)